北海道新幹線札幌延伸に伴う対応

■現状

北海道新幹線については、平成28年3月26日に新函館北斗駅が開業し、令和12年度末頃には新函館北斗・札幌間の開業が予定されており、本格的な新幹線時代の到来を迎え、交流人口の増加など、経済活性化の起爆剤としての期待が高まっています。

一方で、新幹線ルートから外れる胆振地域は、観光面の落ち込みや地域住民の交通利便性の低下などが懸念されており、平成25年10月、北海道新幹線の開業効果を最大限に高め、地域経済活性化に資することを目的に、胆振・日高地域が連携し、官民一体組織である「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」を立ち上げ、これまでに道南の森町と室蘭市を結ぶ森蘭航路を活用した旅行商品の造成のほか、情報発信を通じた気運醸成などの取り組みを進めているところです。

かける、新 みらい。

nittan

北海道新幹線×nittan地域戦略会議
ロゴマーク

新たな観光ネットワークとして
期待される「森蘭航路」

■課題

- ●日胆地域への誘客及び域内周遊における二次交通の確保
- ●札幌延伸に伴う観光面の落ち込みや地域住民の交通利便性の低下

■要望内容

- ●日胆地域への誘客の取組みに対する支援
- ●長万部駅において在来線と新幹線の乗り継ぎ利便性の確保
- ●在来特急の存続及び便数の維持確保
- ●札幌－長万部間南回りの在来線高速化に向けた調査研究の推進

■事業効果

- ●地域住民の交通利便性の確保
- ●観光客の乗継利便性の確保
- ●地域経済の活性化